

はしがき

国立大学財務・経営センターでは、前身の国立学校財務センター時代から国立大学の法人化に資するため「国立大学法人マネジメントシステムに関する調査研究」を実施してきた。周知のとおり、国立大学法人制度は他国に例を見ないユニークな制度であるが、先進各国の中では英国の大学の経営形態に一定の類似性があり、かつ、大学経営の改善のため各種指針、模範事例などが継続的に公表されていることに着目し、同国の大学を参考に研究を進めてきた。

具体的には、大学等への政府資金の交付とその有効活用について責任をおうイングランド高等教育財政カウンシル（HEFCE）の作成した文献資料等から適切なものを選択し、研究組織のメンバーが分担翻訳して検討を行った。

昨年度には財務管理を中心にしてとりまとめた報告書を公刊したが、本年度は残された経営課題で重要性が高いと思われる分野について翻訳・検討したものを集録し、あわせてわが国への教訓と示唆を付して公表することとした。

日英大学間では制度をはじめ差異は大きく英国の事例をそのまま採用することは困難であり、また、適切でもないが、国立大学の経営改善において貴重な示唆を数多く含んでいることは確かである。本書が少しでも関係者のお役に立てば幸いである。

この機会に、本研究にご参加ご協力いただき、ご貢献をいただいたすべての研究者、専門家各位に深く感謝したい。

平成16年9月
独立行政法人 国立大学財務・経営センター
理事長 遠藤昭雄